４　学校教育計画

<table>
<tr><th colspan="3">項　　目</th><th colspan="2">目　標　・　方　針　及　び　計　画</th></tr>
<tr><td rowspan="4">１
学
習
活
動</td><td rowspan="2">(1)</td><td rowspan="2">教育課程</td><td>目標</td><td>○多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を育むともに、進路・適性に応じて幅広く科目選択できる教育課程とする。
○生活文化科では、加えて、専門科目での実験・実習等の体験学習を重視する教育課程とする。</td></tr>
<tr><td>計画</td><td>○普通科では１年次で共通科目を履修させ、２年次からは文系・理系の選択に加え、進路希望や適性に応じて履修するカリキュラムを編成する。１年次で数学・英語について習熟度別学習を展開し、生徒の学力や志望に応じた指導を行う。
○生活文化科では、学校外の実習や専門講師の招聘などを積極的に行い、より専門性を高める。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(2)</td><td rowspan="2">重点１①②
教科指導</td><td>目標</td><td>○学習指導要領に準拠した各科目の指導目標を踏まえて、各学年・各教科の連携を密に行い、生徒の実態に即した学習指導計画のもとに教科指導を実践し、基礎学力の充実・生徒の人間形成及び進路目標の達成が図れるよう努める。</td></tr>
<tr><td>計画</td><td>○生徒の実態に即して主体的・対話的で深い学びの視点からの<u>教科指導方法の改善</u>に努め、指導力の向上を図るとともに、生徒の学習意欲と基礎学力の向上を目指す。
○個人面接を定期的に実施し、生徒一人ひとりの実態を把握して個別指導を行うとともに、学年会を通じて、個々の生徒の状況の共通理解を図り、学年として計画的な学習指導を行う。
○放課後等を利用して教科指導を行ったり、適切な課題を与えたりして<u>基礎学力の定着及び充実</u>を図る。
○学校行事を精選して授業時間の確保に努めるとともに、年間学習指導計画や進度表を生徒に提示して、生徒が見通しをもって取り組める授業を展開する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">２
学
校
生
活</td><td rowspan="2">(3)</td><td rowspan="2">重点２①
生徒指導</td><td>目標</td><td>○規範意識を高める指導実践の中で、生徒に忍耐力を身につけさせ、社会への適応能力を高める。</td></tr>
<tr><td>計画</td><td>○服装指導と遅刻指導に重点を置く。
○服装指導は、毎月１回全教員で行うとともに、乱れが目立つ生徒には日頃から声をかけ、服装を正させることを徹底する。制服を正しく着用させることで生徒のマナーアップ意識の向上を図る。
○遅刻指導は、『８時４０分着席』の徹底を実践する中で、<u>遅刻数の減少</u>を図るとともに、生徒の時間遵守の意識を高める。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(4)</td><td rowspan="2">重点２②
保健指導</td><td>目標</td><td>○健康の保持増進のための環境を整えるとともに、生涯を通じて健康な生活を送ることができる知識・意欲・判断力を養う。</td></tr>
<tr><td>計画</td><td>○健康診断をとおして、自己の健康評価能力や生活改善意欲を養う。
○健康相談活動の推進により、心身の健康課題の早期発見と自己解決能力を育む。
○生徒保健委員会の活性化を図り、健康についての興味・関心を高める。ICT を活用しながら、特に「心の健康」に焦点を当て、<u>自己解決能力を育む</u>。
○学校保健委員会や関係機関等との連携をとおして、保健衛生環境を整備する。
○清掃活動をとおして、美化意識を高めるとともに公共心を育てる。</td></tr>
</table>

項目			目標・方針及び計画	
3 進路支援	(5)	重点３①② 進路指導	目標	○生徒が自己理解･社会理解を深め、進路選択に主体的に取り組ませる。 ○進路実現に向けて、自己の可能性に挑戦させ、人間性を高めさせる。
			計画	○職業や上級学校について学ぶ機会を作り、生徒個々の**進路意識の向上**を図る。 ○立山町企業説明会、インターンシップ、職業人による講演会、職業別ガイダンス等を実施し、キャリア教育の充実を図る。 ○各種の資格取得に積極的に挑戦させる。 ○授業、面談、補習、全教職員による個別指導などによる**進路支援の充実**を図り、生徒の可能性を高めるとともに自己理解を深めさせる。
4 特別活動	(6)	重点４① 特別活動	目標	○生徒の自主的・自発的な行動を通して、よりよい学校生活を築き、有為な社会人としての資質を育てる。
			計画	○**ボランティア活動を充実**させ、公共心を育む。 ○ＨＲ活動や生徒会活動等では、生徒の特性を伸ばし社会性を育成できるように諸行事を企画立案する。 ○部活動では、生徒が目標を明確にし、自発的・自主的活動が行えるように支援する。
	(7)	重点４② 図書指導	目標	○国語力・思考力を高め、小論文試験にも対応できるよう図書指導を充実させる。
			計画	○１年生に図書オリエンテーションを実施する。 ○**読書習慣の確立**のため、授業で図書室の活用を促進し、図書を借りるきっかけを拡大する。 ○進路・課題学習や興味・関心に応じた図書の整備や活用を推進する。 ○図書だよりや掲示コーナーを工夫して、図書館の利用を促進する。
5 その他	(8)	重点５①② 生活文化科	目標	○衣食住、ヒューマンサービスなどにかかわる生活産業の各分野で職業人として必要とされる資質や能力を育てる。 ○生活文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育成する。 ○生活産業を取り巻く諸課題の解決に向けて創意工夫し、生活の質の向上と社会の発展を図る能力と態度を育成する。
			計画	○**専門性を高める知識と技術の習得**のため、実践的・体験的な学習を重視し、課題解決に向けて創意工夫する経験を積み重ねる指導を充実させることで、**生活文化科での学びに対する達成感や充実感を高める**。 ○課題解決能力・意思決定能力の育成を図るため、「思考」を取り入れた授業を展開するなどの工夫をする。 ○言語活動の充実を図るため、生徒が主体的に考えたり、自分の意見をわかりやすく説明したりするなどの場面を意図的に取り入れるように工夫する。
	(9)	保護者・地域との連携	目標	○地域に根ざした開かれた学校づくりを推進する。
			計画	○学年及び学級懇談会を開催し、学校と保護者との連携を密にする。 ○保護者・生徒・教職員の意見交換会を開催する。 ○学校行事の開放を推進する。 ○地域行事への参加を通じて、地域との交流を図る。